
よみがえる笑顔

海梨亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

よみがえる笑顔

【Nコード】

N8208A

【作者名】

海梨亜

【あらすじ】

心を閉ざした少女ユリアは由緒正しい花園一族の末裔。しかし、家族や一族を失った悲しみで表情を表に出さなくなってしまった…

No. 1＊危険任務！？

「ユリアー！火影様が任務だってさ。早く行こ☆」

「……………」

こくつとユリアと呼ばれた少女はうなずき、呼んだ少女の方へと駆け寄る。

少女の本名は花園ユリア。由緒正しい花園一族の末裔。いわゆるうちは一族のようなもの。

生き残っているのはユリアだけ。他は全て戦争の中で虐待などを受けて滅亡した。

あと、ユリアの右腕には『鳳凰』という化け物が封印されている。

「じゃあ任務を言い渡す」

そう5代目火影は依頼書を差し出す。表には大きく『D』とかかれていた。

つまりDランク任務だ。ごく稀に大きな任務になることもある。

依頼書の内容は、木の葉に迷い込んできた人がいるからそいつを自分の里に

返すこと。まあいたって簡単な任務に見える。

「行くぞ。ユリア。アマノ」

「OK！ゼン。行くよっ、ユリア」

ユリアは何も話さずついていくだけ。ただ単に心を閉ざしているだけなんだが…

何の障害もなく任務を終え、里に戻ろうとしたときだった。

草陰で静かに会議が行われる。

『あれは…花園一族の末裔の花園ユリアだ…慎重に人質にしろ…』

『了解しました。ユウマ様。私どもにお任せを』

『わかった。期待しているぞトモヒロ…』

そのころユリアたちは村まであと2kmと言うところまで来ていた。
——作戦開始!

先手をとったのはユリアだった。目には十字架が映っている。

「……………」

「ほお…噂は本当でしたか…日向一族の白眼とうちは一族の写輪眼を併せ持つ…」

白輪眼(※1)ですか…」

トモヒロがぼそっとつぶやく

「……………」

ユリアは黙ったままクナイを投げつけるが、相手はいとも簡単に防いだ。

でもユリアは動じない。その瞬間相手が動いた。

クナイをピンポイントで投げつけるが、ユリアは簡単によける。

「さすが…花園一族の瞬神ユリア様ですね」

「……………」

「貴方の腕…見させていただきます!」

その間、ゼンもアマノも動けなかった。

「貴方方のお相手は私です!」

「!!!!!!」

ユリアがふとゼンたちの方へ振り返った瞬間だった。

——ヒュッ!

ユリアの腕から鮮血がたれる。ユリアは切られた傷口を押さえつける。

痛みをこらえながらユリアはつぶやく

「……………円舞 花水の舞(※2)」

ザアアアア…と花が舞い相手の視力を奪う。

「く…どこだ!」

花が舞い落ちたアトに三人はいなかったが所々に血のあとが残っていた……

「ユリア…大丈夫？」

こくつとユリアはうなずき自分の袖を裂いて腕を縛る。

（早く…里へ帰らなくちゃ

アマノ達を危険な目には合わせられない）

その思いがどんどん高ぶっていく。

（仕方ない。アレを使うか）

「……………失墜の踏技 瞬花の舞（※3）」

グツと2人を抱き、一気に加速する。

早く…早く…その思いがユリアの足を早くさせた。

——ザッ！！

さっきの奴らが早周りをしていたようで通せんぼをする。

「俺らから逃げられると思っているのか？」

No. 1＊危険任務！？（後書き）

＊＊＊＊＊用語集＊＊＊＊＊

※1『白輪眼』読み（びゃくりんがん）

白眼の見抜ける「点穴」や写輪眼の見抜ける「相手の動き」がミックスして見れる眼。

※2『円舞 花水の舞』（えんぶ かすいのまい）

大量の花で相手の視力を一時的に封じ込める。

ユリアの得意とする技。

※3『失墜の踏技 瞬花の舞』（しつっいのとうぎ しゅんかのまい）

最高速度はマッハ3だとか。相手からの攻撃の回避などに役立つがチャクラを使いすぎるのであまり使える技ではない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8208a/>

よみがえる笑顔

2010年10月9日22時17分発行